

二〇二二年一〇月二四日（神戸ハーブ園参加者一〇人）

風の丘指揮者のごとく案山子立つ	満天
足湯して眼下の海に秋惜しむ	"
秋天に往き来にぎはふロープウェイ	"
せせらぎのベンチに園の秋惜しむ	"
園巡るガイドの笑顔爽やかに	"
丘の上のテラスに海の風さやか	ひかり
コスモスをそびらに海へ向くベンチ	"
荷車を千草で満たすハーブ園	"
ハーブ園案内嬢の声さやか	"
秋うらら空港島の浮かぶ海	小袖
爽やかに風車の回る丘の上	"
秋桜グリム童話の庭に揺れ	"
とりどりの薬草園に秋惜しむ	"
秋館ポプリを瓶に壁掛けに	菜々
ゴンドラの影通り行く千草径	"
山上の茶房や卓に吾亦紅	"
秋晴れの出船入船水脈重ね	"
温室にハロウィン人形飾らるる	有香

足湯して秋思うべなふ心旅	"
日矢差して霧の晴れゆく茅渟の海	"
秋桜鳥語に応へ揺れにけり	宏虎
見晴るかす群青の海秋日燦	"
コスモスの丘に風車のモニュメント	せいじ
ハーブ園めぐりて秋を満喫す	百合
コスモスや童話の庭に菓子の家	はく子
秋麗の海を眼下に足湯かな	"
秋うらら動くともなき沖の船	"
秋うららハーブにふれもし含みもし	"

二〇二二年一〇月二四日（神戸ハーブ園参加者一〇人）

吟行句会みの選